

会 議 録

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|--------|-------|--------|-------|----------|-------|-------------|------|---------|--------|---------|-------|------|-------|---------------|-------|---------|-------|
| 会 議 の 名 称 | 弘前市指定管理者選定等審議会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開 催 年 月 日 | 令和6年7月9日（火） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開 始 ・ 終 了 時 刻 | 9時02分 から 9時54分まで | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開 催 場 所 | 弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議 長 等 の 氏 名 | 奈良 道明 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出 席 者 | 委員 金目 哲郎 委員 櫻庭 麻裕子 委員 堀川 慎一 委員 奈良 道明（会長） | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 欠 席 者 | 委員 鈴木 崇大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設所管部職員の 職 氏 名 | <p>(弘前市北辰学区高杉ふれあいセンター)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">市民生活部長</td> <td>佐藤 真紀</td> </tr> <tr> <td>市民協働課長</td> <td>土岐 康之</td> </tr> <tr> <td>市民協働課長補佐</td> <td>齊藤 弘行</td> </tr> <tr> <td>市民協働課市民生活係長</td> <td>対馬 真</td> </tr> <tr> <td>市民協働課主査</td> <td>中畑 まどか</td> </tr> <tr> <td>市民協働課主事</td> <td>齊藤 陽南</td> </tr> </table> <p>(岩木山桜林公園)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 70%;">観光課長</td> <td>早坂 謙丞</td> </tr> <tr> <td>観光課主幹兼観光企画係係長</td> <td>谷淵 孝太</td> </tr> <tr> <td>観光課総括主査</td> <td>赤石 直樹</td> </tr> </table> | 市民生活部長 | 佐藤 真紀 | 市民協働課長 | 土岐 康之 | 市民協働課長補佐 | 齊藤 弘行 | 市民協働課市民生活係長 | 対馬 真 | 市民協働課主査 | 中畑 まどか | 市民協働課主事 | 齊藤 陽南 | 観光課長 | 早坂 謙丞 | 観光課主幹兼観光企画係係長 | 谷淵 孝太 | 観光課総括主査 | 赤石 直樹 |
| 市民生活部長 | 佐藤 真紀 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民協働課長 | 土岐 康之 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民協働課長補佐 | 齊藤 弘行 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民協働課市民生活係長 | 対馬 真 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民協働課主査 | 中畑 まどか | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民協働課主事 | 齊藤 陽南 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 観光課長 | 早坂 謙丞 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 観光課主幹兼観光企画係係長 | 谷淵 孝太 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 観光課総括主査 | 赤石 直樹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------------|---|
| 事務局職員の 職 氏 名 | <p>管財課長 太田 泰輔 管財課長補佐 大和田 淳 管財課公共施設マネジメント推進室主幹 葛西 宏 管財課公共施設マネジメント推進室主査 金野 人史 管財課公共施設マネジメント推進室主査 工藤 寛明 管財課公共施設マネジメント推進室主査 工藤 早史</p> |
| 会 議 の 議 題 | <p>案件 1. 弘前市北辰学区高杉ふれあいセンターほか計2施設の指定 管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について</p> |
| 会 議 結 果 | <p>1. 弘前市北辰学区高杉ふれあいセンターほか計2施設の指定 管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について</p> <p>(1) 弘前市北辰学区高杉ふれあいセンター 弘前市北辰学区高杉ふれあいセンターの指定管理者候補者の 選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。</p> <p>(2) 岩木山桜林公園 岩木山桜林公園の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及 び選定基準等については、妥当である。</p> |
| 会 議 資 料 の 名 称 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 案件対象施設及び指定管理者候補者選定方法一覧（資料1） ・ 指定管理者制度に係る今後のスケジュール（資料2） ・ 指定管理者制度の導入に係る方針（資料3） ・ 弘前市指定管理者選定等審議会委員名簿（資料4） |

| | |
|----------------|--|
| <p>会 議 内 容</p> | <p>【以下、施設所管部からの説明、質疑等の概要】</p> <p>(議長) 全体の概要について、事務局の説明を求める。</p> <p>(事務局) 本日審議する施設は、資料1の一覧に記載のとおり弘前市北辰学区高杉ふれあいセンターほか計2施設となっている。 これは、令和7年3月31日をもって現在の指定期間が満了するため、今年度更新手続をとるものである。 なお、本日審議いただく選定方法は、すべて非公募としている。</p> <p>(議長) 弘前市北辰学区高杉ふれあいセンターほか計2施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について、審議を行う。 会議の進め方は、資料1により、募集グループごとに施設所管部からの説明及び質疑を行い、審議することとする。</p> <p>■弘前市北辰学区高杉ふれあいセンター</p> <p>(議長) それでは、市民生活部から、弘前市北辰学区高杉ふれあいセンターの選定方法等について説明をお願いする。</p> <p><施設所管部 説明></p> <p>(議長) 以上の説明について、質問や意見はないか。</p> <p>(委員) 1つ目、ふれあいセンターの設置目的が、世代間の交流、高齢者の生きがい創出と記載されているが、世代間交流が上手くいっているのか疑問。難しさは有る前提で聞くが、成果指標に世代間の交流を表すような指標を加えることができるか、或いは加える必要はないのか、市の考えは。多分、年配の方が割と利用しているようなイメージを持つが、若い人達や子供たちが来て色々と交流する場面があったら良いということを踏まえての質問。 2つ目、資料6ページで、令和5年度は職員が退職して1人減少したという説明だったが、業務に影響はあったのか。また</p> |
|----------------|--|

10 ページの次期指定管理料の積算では、減少した後の人員体制を想定したものなのか、元々の人員体制を想定したものなのか。

3つ目、資料8ページの選定基準(3)①②は各15点と特にウェイトが高く、①は「利用率の増加を図るための具体的な事業計画」、②は「基本的なサービス向上を図る」との記載があるが、担当課として具体的にどのような事業計画を想定されているのか、どのようなことが加点要素になりうるのか。また②で「日常的に利用者のご要望を把握する仕組み」と記載があるが、現在の手法や仕組みについて教えていただきたい。

4つ目、自主事業は指定管理料の範囲の外という前提になるが、資料8ページの選定基準でも5点とそれほど重視しているのではないと読めるが、一方で資料7ページで指定管理者に特に要請する事項にある、利用促進を図るとか、利用者の満足度を測るとか、或いは施設の設置目的の交流を促す、といったことは、自主事業によって上手くいくというコンセプトなのではと感じた。貸館業務や維持管理業務は大変だが当然行われるべきものであり、それにより今言ったような施設の目的が果たせるのか、限界や難しさがあると考え。要は、自主事業は重要だと考えるが、市の考えは。

(施設所管課)

1つ目の質問について、年齢別、地区別と様々な利用者情報の報告を受けているので、成果指標とする予定は無いもの。

2つ目の質問について、職員3人の人員体制だったが昨年7月末に1人退職し、すぐ補充できればよかったが、8月から11月まで2人で対応した。2人で対応しなければならぬので、予約が入っていない場合は開館時間を短縮するといった対応を行い、12月以降は1人臨時職員を雇い対応できた。今後の見込みとしては3人体制で考えている。

3つ目の質問について、日々の取組となるが、利用率の増加を図るため、利用者の要望を細かく聞く、満足度を上げていくことで、リピートや新たな利用に繋げていきたい考え。また公民館が入居する複合施設なので、公民館と連携し利用者を取り込む、といった計画等も加点要素として考えている。次に利用者の要望を把握する仕組みとして、現在はアンケートを実施する他にも、受付において日常的に利用者とは出来るだけコミュニケーションをとりながら利用者の要望を引き出すといった手法をとっている。

4つ目の質問について、委員御指摘のとおり維持管理の中で設置目的を果たすことは難しく、これまでは年に1回、公民館と指定管理者が連携を図りながら事業を行ってきたので、今後もその連携を強化して運営してもらいたいと考えている。

(委員)

成果指標という表現を使ったが、交流センターなのでビジネスライクに運営するのは適さず、運営側と利用者である住民が同じ目線で交流しコミュニケーションをとる中で、要望、ニーズを把握している、というのは非常に良い。そういった施設の在り方が大事だと思う。

(委員)

成果指標として設定されている地元住民の利用率について、「利用件数に対して」との記載だが、利用目的や利用される方たちの人員構成で判断するという認識でよろしいか。

(施設所管課)

利用される団体の代表者が地区内の住民であれば、地元利用としてカウントする。

(委員)

特に活動内容に制限を設けるといったことは無いということで理解した。また、自主事業で行われた健康料理教室等のイベントは、地域住民を対象としたものなのか、地域住民に参加していただきたいという趣旨で開催するのか。

(施設所管課)

健康料理教室に関しては基本的に地域住民の方々を対象にしているが、地域外の方を拒むものではなく、一緒になって開催している。

(委員)

個人的な話になるがプライベートで数回利用しており、その際は他の方に声をかけてもらった。このような施設を知っている人が口コミで利用者を広げていくのも一つの手だと思うし、是非たくさんの方に利用していただきたい。

(委員)

成果指標に「新たに地域住民の利用率を追加した」とあり、コロナの影響によって地域住民の利用率が減少したとの説明だったが、コロナ以外の減少要因はあるか。

(施設所管課)

コロナによって、会わない、集まらない方法で活動し、五類移行後もそのまま継続しているのではと推測。

(議長)

その他ないか。よろしいか。
それでは、弘前市北辰学区高杉ふれあいセンターの選定方法等について、このとおり決定してよろしいか。

<委員了承>

(議長)

それでは、そのように決定する。

<担当課入れ替え>

■岩木山桜林公園

(議長)

それでは、岩木山桜林公園の選定方法等について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

1つ目、資料 19 ページに記載の目指す方向性として、今まで以上に市民の方々に利用され賑わいのある施設にしたいと記載されていることを踏まえて、市内市外の利用状況はどうか。

2つ目、資料 20 ページに記載の選定基準のうち、(3) ①②で利用者の増加を図るための取組や、利用者サービスの向上を図るための取組のウェイトが高いが、担当課として具体的にどのような事業を想定しているのか、どのような事業提案があれば加点対象となるかの考え方は。

3つ目、同じく選定基準(3) ④自主事業で10点となっているが、これまでの自主事業の実績は桜の樹勢回復業務だけなのか。また、申請者のノウハウや創意工夫を発揮することが加点要素と読めるが、具体的にどのような自主事業を提案したら加点されるのか、担当課としての想定は。

4つ目、事業性について、本施設の収支は利用料金が中心になっていて、経営基盤の確保や安定性という観点で、そこそこ儲かるような施設なのかどうか、担当課の考えは。

(施設所管課)

1つ目の質問について、桜林公園の利用は無料で常時出入り出来るので把握しておらず、コテージ宿泊者の正確な情報は手元に無いが、指定管理者からは市内7割、市外3割と、市内利用の方が多いと聞いており、新型コロナウイルスの影響もあってアウトドア目線で来ている方も多いという印象。

2つ目の質問について、どのような提案が加点になるかという想定は、コテージに関しては、例えばチェックイン、アウトの時間をずらして利用者が使いやすいプランを設定しニーズを拾うといった手法や、最近だとペット同伴で宿泊し公園で遊ば

せたいという声も聞くので、プラン化しニーズを拾う、といった運営手法があれば良いのでは、と担当課として考えている。

3つ目の質問について、自主事業は桜の樹勢回復がメインであり、平成26年度から10年かけて樹木医へ依頼し行っている。桜林公園に桜の木が約500本あるが、依頼する前は元気が無くなっており、このままでは良くないと市民からも意見をいただいたので指定管理者が自主事業として行ったもの。平成26年度からの10年で一旦終えたものの、やはり実施した方が、利用者の安全安心、美観向上による集客、利用者満足度に繋がっているところが、実績、効果と捉えている。他に行われた自主事業の実績としては、早朝のヨガ体験などを実施しており、指定管理者が周辺の総合公園や宿泊施設等を一体管理しているので、他施設とのコラボによる運動イベントや体験会といった事業を実施している。

4つ目の質問について、事業性については、桜林公園だけの管理ではなく周辺施設も含めて管理しており、利用者の取り込みといった波及効果にも繋がっているので、現指定管理者に指定管理をお願いしている。

(委員)

桜の樹勢回復は指定管理料に含めてもよいのでは。

(施設所管課)

桜の管理について、委員御指摘のとおり市として行うべき業務でもあるので、必要な管理業務は積算し指定管理料に計上しているが、管理だけではなくもっと綺麗にすべきという意見もあったので、線引きは難しいものの、管理業務の部分と美観向上のため自主事業で行う部分と両立させている。

(委員)

他地域では熊による閉鎖やイベント中止など聞くが、対策等は。

(施設所管課)

観光課として岩木山登山道なども担当しており、看板を設置するといった対応をとり、桜林公園の管理では、巡回数を増加し、またコテージ宿泊客には、インターネット経由での予約者にも、直接電話で注意喚起をするといった対応をとっている。

(議長)

その他ないか。よろしいか。

それでは、岩木山桜林公園の選定方法等について、このとおり決定してよろしいか。

<委員了承>

| | |
|----------------|---|
| | <p>(議長) それでは、そのように決定する。</p> <p>(議長) 審議案件は以上となるが、ほかに何かあれば伺いたい。</p> <p><特になし></p> <p>(議長) では、今後の予定について事務局から説明をお願いします。</p> <p><事務局から今後の予定について説明></p> <p>(議長) 質問がないので、これで案件審議を終了する。</p> |
| <p>その他必要事項</p> | <p>会議は非公開である。</p> |